



金沢城 河北門からの眺め

金銭アップを機に、健保拠出金を考える

当組合の平成30年度は、国に支払う拠出金が大幅に増額し、積立金を取り崩すこととなり、厳しい予算編成になりました。この状況なので、拠出金について考えてみたいと思います。

拠出金は全国の高齢者の医療費に使われます。健保の拠出金支払に反対する人は、被保険者とは直接関係のない高額な費用負担があるのは保険本来の意義に反するとの意見です。但し、高齢者には当組合の元被保険者も含まれますので、まったく無関係ではありません。現在現役の方もいずれは引退しますので、退職後に健保の拠出金の恩恵を被ることになります。

被保険者に直結しない費用は税負担で対応すべきというのが健保連の主張です。尤もな考えですが、現在の税金を管理する財務省の国民からの信頼が揺らいでいます。更に高額のお金を管理させて大丈夫なんだろうかとも思っていますよ。

世界の国々が称賛する日本の健保皆保険制度は、赤ちゃんから高齢者まで全ての人が対象です。この制度を維持するためには、日本人全員がその意義を理解し、守り抜く気概を持たないといけません。制度設計を考えるのは、その前提に立っての話になります。

国民皆保険が現在の日本医療費制度の危機を招いたのだから、それを維持するのは止めようという考えがあってもおかしくはありません。但し、その主張は、自分が高齢者になり、病気になった時は、今までと違い膨大な治療費が掛かる可能性が出てくる前提との覚悟が必要になります。

保険の基本は相互扶助です。このことは忘れずにいたいです。

平成30年度 事業計画・予算

平成29年度一般勘定は黒字、介護勘定は赤字予測

平成30年度は納付金大幅増加により、一般・介護共赤字予算

去る2月16日に開催した第128回組合会にて、平成30年度事業計画及び収入支出予算を決定しました。

平成30年度予算では、納付金額が大幅に増加します。特に介護勘定では、納付金計算方法が加入者割から総報酬割に変更となり、大半の健保組合の納付額が増加しています。

その結果、当組合でも一般・介護共に赤字予算となりました。

赤字対応として、一般勘定では、積立金の取崩しで対応します。介護勘定では、2年連続の赤字となり、今後も増額が予測される状況であることから、介護保険料率を1000分の12から1000分の14に改定とすることと決議しました。介護保険料率改定は平成23年度以来となります。改定で増加した納付金を全て賄うには至りませんが、残額は準備金取り崩しによって対応します。

尚、健康保険料（現在1000分の86）は現行通りです。

1.平成29年度決算予測

上記の通り、一般勘定は黒字、介護勘定は赤字予測です。上昇していた保険給付費は減少傾向です。

2.高齢者医療制度の影響(一般勘定)

平成30年度予算の納付金見込総額は826,010千円となりました。平成29年度予算から256,990千円増額となります。

3.平成30年度予算編成状況(一般勘定)

納付金増額に対応しつつも、必要な運営を実施します。

データヘルス計画が第2期を迎え、組合が所有しているデータの更なる有効活用が求められるなか、データの分析だけでなく、組合員のサービスの向上が図れるシステムを導入し、活用します。

また、セキュリティには細心の注意を払い、コストを意識しつつも堅牢な仕組みを構築し、データを守ります。

4.保健事業

これまでの事業の検証をデータ分析する仕組みを構築します。そして、より効果的な事業の推進を図ります。

5.介護保険(介護勘定)について

納付金が増加し、介護保険料収入との差額が29年度より増加しました。不足分は料率改定で対応しますが、介護準備金の取崩しも実施予定です。

平成30年度 収入支出予算概要表

[一般勘定]

収入の部

科目	予算額(千円)
健康保険料収入	1,726,259
国庫負担金収入	410
調整保険料収入*	28,360
繰入金	
退職積立金繰入	2,000
別途積立金繰入*	270,000
国庫補助金収入	
特定健診指導助成金	871
その他助成金*	4
財政調整事業交付金*	14,179
雑収入	
利子収入	62
施設利用料	2,233
補助金等追加収入*	2
その他	1,413
収入合計	2,045,793
経常収入(*を除く)	1,733,248

[介護勘定]

収入の部

科目	予算額(千円)
介護保険収入	195,576
繰越金	1,000
繰入金	30,000
雑収入	2
収入合計	226,578

支出の部

科目	予算額(千円)
事務費等	58,801
保険給付費	928,526
納付金	826,010
保険事業費	123,173
還付金	
保険料還付金	100
調整保険料還付金*	2
営繕費*	100
財政調整事業拠出金*	28,360
連合会費	943
積立金	1,700
雑支出	
補助金等返還金支出*	872
その他	400
予備費*	76,806
支出合計	2,045,793
経常支出(*を除く)	1,939,653
経常収支差	-206,405

支出の部

科目	予算額(千円)
介護納付金	207,799
介護保険料還付金	500
積立金	8,279
予備費	10,000
支出合計	226,578

[事務局だより]

公告第332号

介護保険料率を改定します

第128回組合会で、介護保険料率の改定が決議されました。変更後の介護保険料率は平成30年3月分保険料(4月徴収分)から適用します。任意継続被保険者は4月分保険料から適用となります。

健康保険料を改定するのは、平成23年度以来7年ぶりです。

負担割合	変更後	変更前
事業主	7/1000	6/1000
被保険者	7/1000	6/1000
計	14/1000	12/1000

「医療費のお知らせ」の配布について

「医療費のお知らせ」は、毎月の健保組合が病院に支払う金額を掲載し、会社を通じてみなさんに用紙で配布しています。これを電子化帳票で配布することを検討しています。考慮すべき内容が山積みですが、準備ができましたらお知らせします。暫くお待ちください。

平成30年度主婦健康診断のご案内

被扶養者を対象とした主婦健康診断を今年度も実施します。案内書は既にご自宅へ郵送しています。今年度から申込み方法を変更いたしました。案内書をご確認いただいてお申込みをお願いいたします。

被扶養者(家族)の異動に伴う健保組合へのお手続きはお済みですか？

4月は異動シーズンです。ご家族（被扶養者）が就職した、またはアルバイトや年金の収入が増えたなどの変更はありませんか？該当する場合は、ご自身で必ず健康保険組合のお手続きを行ってください。

下記の場合が被扶養者ではなくなります。不明な点は健保組合へお問い合わせください。

- ・就職したとき
- ・月額108,333円以上（60歳以上は月額150,000円）の収入が見込まれる場合
- ・勤め先の健康保険の有無に関わらず、就職日での減少手続きが必要です。
- ・失業保険を受給するとき
- ・お子様が結婚したとき

お手続き

減少の手続きは被扶養者異動届と一緒に就職した方の健康保険証を添えて、会社の担当部署に提出してください。

なお、被扶養者異動届の用紙はホームページ <http://www.jeol-kenpo.com/> からダウンロードできます。

被保険者証更新にご協力いただきましてありがとうございました。

平成30年3月に新しい被保険者証を交換交付しました。皆様のご協力ありがとうございました。

新しい被保険者証には有効期限がありません。今まで以上にお取り扱いにご注意ください。

組合の現勢（平成30年3月末現在）

一般保険

被保険者数	3,036 名
男子	2,550 名
女子	486 名

被扶養者数	3,181 名
男子	1,088 名
女子	2,093 名

介護保険

該当被保険者数	1,834 名
男子	1,524 名
女子	310 名

該当被扶養者数	772 名
男子	3 名
女子	769 名

編集後記

今年はインフルエンザのA型、B型の流行時期が特異でした。そのせいで、この冬で複数のインフルエンザに罹る人が例年以上に多かったようです。また、花粉が例年以上に飛散しましたので、毎年花粉症に悩まされている方は特につらいシーズンを送られたこととお察しします。体調管理には注意され、充実した日々をお過ごしください。

平成30年4月27日発行

日本電子健康保険組合

〒196-8558 東京都昭島市武蔵野三丁目1番2号

編集・発行責任者／末岡 弘